

## ■20年間にけるまちの変化

平成17年(2005年)朝霞市都市計画マスタープランが策定されてから、現在に至るまで約20年間にけるまちの変化を、各統計データ、市民意識調査、事業・施策の視点から整理をした。

### (1) 主なまちの変化

項目	策定当時 平成17年 (2005年)	改訂時 平成27年 (2015年)	現在 令和6年 (2024年)	増減状況 (約20年間)	出典
1. 住みよさ総合 ランキング* <sup>1</sup> [位]	637	276	343	↑294	東洋経済「都市データバック」 平成15年～令和5年
2. 総人口[人]	119,712	129,691	141,083	+17.9%	国勢調査 平成12年～令和2年
2-1. 年齢別3区分(0～14 歳)[人]	18,061	18,112	19,106	+5.8%	国勢調査 平成12年～令和2年
2-2. 年齢別3区分(15～64 歳)[人]	88,663	88,207	93,817	+5.8%	国勢調査 平成12年～令和2年
2-3. 年齢別3区分(65歳以 上)[人]	12,540	21,332	27,533	+119.6%	国勢調査 平成12年～令和2年
2-4. 総世帯数[世帯]	50,220	56,790	62,663	+24.8%	国勢調査 平成12年～令和2年
3. 保育園数[施設] (受入人数[人])	13 (1,127)	27 (2,099)	45 (3,279)	+32 (+2,152)	統計あさか(保育課) 平成16年～令和5年
4. 分譲マンション棟数[棟]	180	206	254	+74	朝霞開発建築課 平成16年～令和4年
5. 公園面積* <sup>2</sup> [㎡]	237,778	302,238	310,000	+72,222	朝霞市みどり公園課HP 平成16年～令和6年
6. 医療施設数 (診療所)[施設]	30	64	85	+55	統計あさか(朝霞保健所) 平成16年～令和5年
7. 要介護(要支援)認定数(65 歳以上)[人]	842	2,722	4,563	+3,721	高齢者福祉計画・介護保険 事業計画 平成13年～令和2年
8. 老人福祉施設* <sup>3</sup> [施設]	13	37	66	+53	埼玉県介護事業所・生活関 連情報検索システム
9. 障害福祉施設* <sup>4</sup> [施設]	8	15	29	+21	朝霞市障害福祉課 平成16年～令和5年
10. 市内NPO法人数 [団体]	7	36	45	+38	埼玉県NPO情報ステーション 平成16年～令和6年

項目	策定当時 平成17年 (2005年)	改訂時 平成27年 (2015年)	現在 令和6年 (2024年)	増減状況 (約20年間)	出典
11. 市内購買率 (家族で買い物を楽しむ)	10.5%	13.2%	14.7%	+4.2%	埼玉県広域消費動向調査報告書 平成12年～27年度
12. 財政(一般会計当初予算)民生費の割合(歳出)	31.4%	48.0%	52.5%	+21.1%	朝霞市財政課 平成18年度～令和6年度
13. 農地転用 (住宅用地面積)[㎡]	25,856	36,763	19,170	▲6,686	統計あさか(農業委員会) 平成14年～令和4年
14. 待機児童数[人]	116* <sup>5</sup>	38	18	▲98	朝霞市保育課 平成16年～令和5年
15. 刑法犯罪認知件数[件]	2,566	1,288	1,503	▲1,063	朝霞警察署 平成15年～令和5年
16. 交通事故発生件数[件]	662	429	283	▲379	統計あさか(まちづくり推進課) 平成14年～令和4年
17. 商業					
17-1. 事業所数 (卸売業)[所]	178	113	130	▲48	経済センサス 平成14年～令和3年
17-2. 従業者数 (卸売業)[人]	1,443	1,391	1,503	+303	経済センサス 平成14年～令和3年
17-3. 事業所数 (小売業)[所]	617	367	378	▲239	経済センサス 平成14年～令和3年
17-4. 従業者数 (小売業)[人]	5,033	3,742	4,527	▲506	経済センサス 平成14年～令和3年
18. 工業					
18-1. 事業所数[所]	249	183	176	▲73	工業統計調査、経済センサス 平成14年～令和3年
18-2. 従業者数[人]	5,621	4,241	4,405	▲1,207	工業統計調査、経済センサス 平成14年～令和3年
19. 自治会加入率	54.1%	47.1%	39.5%	▲14.6%	令和5年度施策評価及び事務事業評価
20. 財政(一般会計当初予算)土木費の割合(歳出)	18.4%	6.8%	8.3%	▲10.1%	朝霞市財政課 平成18年度～令和6年度

※1：総合ランキング：「安心度」「利便性」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」の5つの観点(16指標)から算定

※2：公園は、都市公園(街区公園、近隣公園、地区公園、歴史公園、都市緑地)とし、児童遊園地は含まない

※3：老人福祉施設：老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人介護支援センター(老人福祉法より)

※4：障害福祉施設：生活介護事業所、自立訓練事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所(A型・B型)、障害者支援施設(就労移行支援・就労継続支援・生活介護を行うものに限る)、地域活動支援センター(障害者総合支援法より)

※5：この待機児童数は平成16年度以降のピーク値である平成23年度の値

## (2) 主な市民意識の変化

項目	策定当時 平成17年 (2005年)	改訂時 平成27年 (2015年)	現在 令和6年 (2024年)	増減状況 (約20年間)	出典
1. 朝霞市の「住み良さ」 について【一般】 「ずっと住み続けた い、当分は住み続けた い」 ( )内:ずっと住み続 けたいか	76.3% (27.3%)	84.8% (41.5%)	81.7% (39.4%)	+5.4% (+12.1%)	平成16年～令和5年
2. 住まい周辺で良いと感 じる点【一般】 2-1.「公共交通手段が発 達しており利便性 が高い」	36.3%	54.3%	-	-	平成14年～令和5年 ※令和5年に実施した市 民意識調査では当該項 目なし
2-2.「医療福祉施設が近 くにある」	13.2%	21.0%	-	-	
3. 自然環境の今後 【一般】 「現在のまま保全す る」	16.8%	29.4%	29.9%	+13.1%	平成14年～令和5年
4. 防災・消防に対する意 識【一般】 4-1.「満足度」 ( )内:満足している		45.7% (10.2%)	54.1% (17.3%)		平成14年～令和5年
4-2.「重要度」 ( )内:重要である		84.2% (66.2%)	91.7% (71.7%)		
5. 産業活性化に対する意 識【一般】 5-1.「満足度」 ( )内:満足している		31.3% (6.6%)	32.5% (5.9%)		平成14年～令和5年
5-2.「重要度」 ( )内:重要である		61.3% (24.6%)	76.0% (38.9%)		
4. 朝霞市は好きか 【青少年】 「好き、まあ好き」 ( )内:好き	58.3% (20.3%)	81.9% (38.5%)	77.5% (44.8%)	+19.2% (+24.5%)	平成21年～令和5年

項目	策定当時 平成17年 (2005年)	改訂時 平成27年 (2015年)	現在 令和6年 (2024年)	増減状況 (約20年間)	出典
5. 朝霞市が好きな理由 【青少年】					平成21年～令和5年
5-1. 「交通の便がよい」	17.4%	41.3%	53.7%	+36.3%	
5-2. 「住んでいる環境や まちなみがよい」	13.0%	29.5%	38.1%	+25.1%	
5-3. 「まちが安心・安全 である」	5.1%	24.5%	32.1%	+27.0%	
6. 住まい周辺での整備改 善が必要【一般】 「歩道がない(狭い)」	45.1%	52.9%	-	-	平成14年～令和5年 ※令和5年に実施した市 民意識調査では当該項 目なし
7. 朝霞市が嫌いな理由 【青少年】					平成21年～令和5年
7-1. 「住んでいるまちな みや環境がよくな い」	7.7%	21.4%	31.3%	+23.6%	
7-2. 「買い物をするのに 不便である」		57.1%	50.0%	▲7.1%	

#### 市民意識調査の主な変化（市民意識調査及び青少年アンケート）

市の全体的な計画（総合計画）と本計画が連携し、令和5年（2023年）11月に市民の皆さんのまちづくりへの考え方・ご意見などについて伺い、計画づくりに生かすための基礎的なデータとして、アンケート調査を行った。

#### 市民意識調査

- ・対象者：市内在住の18歳以上の男女 3,000人
- ・調査項目：「住みよさ」、「地域との関わり」、「市政」、「市の全般的な取組」、「これからのまちづくり」
- ・有効回収数：976票（紙回答：743票、Web回答：233票）
- ・有効回収率：32.5%（紙回答：24.8%、Web回答：7.8%）

#### 青少年アンケート

- ・対象者：市内在住の12歳以上18歳未満の男女 1,000人
- ・調査項目：「日頃感じていること」、「これからのまちづくり」、「地域との関わり」、「市の取組」
- ・有効回収数：281票（紙回答：178票、Web回答：103票）
- ・有効回収率：28.1%（紙回答：17.8%、Web回答：10.3%）

### (3) 主な事業・施策の変化

※別紙参照

#### (4) 20年間にけるまちの変化【まとめ】

これまでに整理してきた「主なまちの変化」、「主な市民意識の変化」そして「主な事業・施策の変化」を踏まえ、20年間にける朝霞のまちの変化を以下にまとめた。

##### ①住宅地として選ばれ、住み続けたいと思う市民ニーズが増加

---

- ・住みよさランキングは300位程度上昇、改定時より70位程度下落
- ・人口、世帯数は共に継続増加、65歳以上人口は2倍以上増加
- ・分譲マンションは74棟と4割程度増加、都市型住宅が進展
- ・医療施設（一般診療所）は3倍程度増加、身近に医療サービスを受ける機会は増加
- ・朝霞市に「住み続けたい」と思う市民の割合は増加、改定時より3%程度減少
- ・朝霞市について「好き、まあ好き」と思う青少年の割合は増加、改定時より5%程度減少
- ・青少年の朝霞市が好きな理由として、「交通の便がよい」、「住んでいる環境やまちなみがよい」、「まちが安心・安全である」が多く挙げられ、いずれも継続増加

##### ②子育て環境は充実である一方、高齢者福祉の需要が急増

---

- ・保育園は3倍増加とともに、受入人数も大幅に増加
- ・待機児童数は20年間にけるピーチ値の2割程度に激減
- ・65歳以上の要介護（要支援）認定者は継続増加、20年間で5倍以上と激増
- ・老人福祉施設は5倍程度増加
- ・障害福祉施設は3倍以上増加
- ・民生費の歳出は継続増加

##### ③商業・産業活力の低下により、まちの魅力が低下

---

- ・市内購買率（家族で買い物を楽しむ）は小幅で継続増加
- ・商業は卸売業、小売業共に事業所は減少、従業者数は卸売業が増加、小売業が減少
- ・工業は事業所と従業者数は共に減少
- ・青少年の朝霞市が嫌いな理由として、「買い物をするのに不便である」、「住んでいるまちなみや環境がよくない」は多い
- ・産業活性化（魅力ある商業機能の形成、産業誘致の推進等）の取組について「重要である」と回答する市民の割合が増加傾向

##### ④市民の自然環境や農地の保全に対する意識が向上

---

- ・公園面積は継続増加
- ・住宅用地への農地転用面積は改定時をピークに減少
- ・自然環境について、「現在のまま保全する」と思う市民の割合は継続増加

##### ⑤より安全で安心なまちに向けた市民ニーズが増加

---

- ・刑法犯罪認知件数は4割程度減少、改定時よりは4分の1程度増加
- ・交通事故発生件数は継続減少、策定時の半分に減少
- ・土木費の歳出は減少傾向、改定時より1.5倍程度増加
- ・防災・消防に関する取組について「重要である」と回答する市民の割合が増加傾向

##### ⑥NPOなどの市民活動は活発である一方、地縁活動は縮小傾向に

---

- ・市内NPO法人は6倍以上増加
- ・自治会加入率は継続減少、直近は4割以下